

埼玉大学「ダイバーシティ課題解決教育履修証明プログラム」受講要項

1. 開設趣旨

埼玉大学は、「多様な学問と多様な学生・教職員によって教育・研究・就労の場が構成されているという認識を全学生・教職員が共有し、理念を実現するよう、研修等を実施し、意識啓発に努める」という「ダイバーシティ宣言（別紙）」を行っています。

この宣言内容を具体化するため、ダイバーシティ課題解決教育プログラムを学部教育課程に開設し、「ダイバーシティ関連授業科目」を履修してもらうことでダイバーシティ理念の実現を目指しています。

今回、本学学生向け「ダイバーシティ関連授業科目」の一部を社会人に開放し、ダイバーシティ理念入門編として「ダイバーシティ課題解決教育履修証明プログラム」を開設しました。

ダイバーシティ理念の推進は、一人ひとりの個性・多様性が尊重されることで各自が「ちから」を発揮し楽しく生き活きと活動できるという個人の幸福実現に加えて、異なる人たちの対話による関係性を育み、多様性に富む、持続可能な地域社会となるという社会の幸福実現にも繋がるものです。

ぜひ本履修証明プログラムを履修され、自身と社会の幸福を実現させてください。

なお、後述の修了要件を満たした場合は、埼玉大学長名の履修証明書を授与するとともに、このプログラムの学修履歴をネットワークに明示することができる「オープンバッジ」を提供します。

2. プログラムの概要

以下の科目中、必修科目2科目（ダイバーシティ入門・ジェンダー論入門）とその他の科目2科目、計4科目を履修して、ダイバーシティの基礎的知識を学びます。

必修・選択	授業科目名	受講形態
1（必修）	ダイバーシティ論入門	対面
2（必修）	ジェンダー論入門	対面
3（選択）	AL2（「多様な性」と出会う）	対面
4（選択）	AL2（男女共同参画社会を考える）	対面
5（選択）	AL2（ダイバーシティ福祉論）	対面
6（選択）	AL2（家族とダイバーシティ）	対面
7（選択）	AL2（医療・身体とジェンダー）	対面
8（選択）	AL2（経済社会とジェンダー）	対面
9（選択）	AL2（ダイバーシティから考えるインクルーシブリーダーシップ）	対面
10（選択）	AL2（医療・身体とジェンダー）	対面
11（選択）	AL2（ジェンダー・ダイバーシティと教育）	対面
12（選択）	AL2（ダイバーシティ社会におけるケアリング）	対面
13（選択）	「戦争の記憶・平和の思想」と出会う	対面
14（選択）	人間の<性>と<生>と<死>	対面
15（選択）	AL2（障害と社会）	対面
16（選択）	AL2（ダイバーシティ社会を作る）	対面

※ 必修科目

1. 「ダイバーシティ論入門」は、毎年第3学期（9月下旬～11月末）の年1回毎週金曜 13:00～16:20、

2. 「ジェンダー論入門」は、毎年第2学期（4月上旬～6月上旬）及び第4学期（12月上旬～2月上旬）の年2回

毎週月曜水曜 10:30～12:10

に実施する予定です。受講申請前に日程上受講可能か必ず検討されたくお願いします。（その他の科目はシラバスを参照願います。）

埼玉大学シラバス（授業概要・日程等）は、以下より確認してください。

<http://syllabus.saitama-u.ac.jp/portal/public/syllabus/>

3. 修了要件

前記科目中、1と2及び3～16の科目中2科目・計4科目を履修し成績評価がC以上となること。

4. 履修証明書等の発行

ダイバーシティ推進センターの議を経て学長が修了認定を行います。

修了者には、学校教育法の規定に基づく履修証明書及びオープンバッジを交付します。

5. 在籍期間

受講開始学期から3年間

6. 在籍中の地位

履修証明プログラム履修生として授業に出席する地位のみとなります。

7. 開講形態

埼玉大学大久保キャンパスにて対面方式により開講

問い合わせ先

埼玉大学ダイバーシティ推進センター

e-Mail:diversity-s@gr.saitama-u.ac.jp

郵便番号 338-8570 さいたま市桜区下大久保255

窓口時間 平日：9時～12時、13時30分～17時

2024年度第1・2学期

埼玉大学「ダイバーシティ課題解決教育履修証明プログラム」受講申請要項

1. 募集人員 各科目5名程度

2. 受講資格

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）、または中等教育学校を卒業した者
- (2) 高等専門学校の第3学年を修了した者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

* (3)で申請する場合は、申請前に埼玉大学ダイバーシティ推進センター担当に相談してください。相談なき場合は申請できません。

3. 募集科目

「AL2（経済社会とジェンダー）」	4/18～8/1の間	毎週木曜（週1回）	16:20～17:50
「AL2（多様な性と出会う）」	6/17～8/5の間	毎週月曜・水曜（週2回）	9:00～10:30
「AL2（ジェンダー論入門）」	6/17～8/5の間	毎週月曜・水曜（週2回）	10:40～12:10

4. 申請期間

3月11日～3月27日

5. 受講料

1科目5,850円受講ごとに納付

6. 申請方法

- 1) 受講申請（オンライン登録）<https://forms.gle/z7pzYgc3XVJp2eYQ7>
- 2) 最終学校の卒業証書写・学位記写又は卒業・修了証明書写（e-mailによる添付送信）
- 3) 本人写真（e-mailによる添付送信）

7. 受講許可

オンライン登録内容に基づき選考し、受講の可否をメールにて連絡します。

その後、合格者は受講料を、現金書留により以下の問い合わせ先に送付してください。

問い合わせ窓口で直接支払も可能です。

受講料の支払い確認後、受講証をメール添付送付します。

なお、受講料支払い後の返金は一切できません。

【 問い合わせ先 】

埼玉大学ダイバーシティ推進センター

E-Mail: diversity-s@gr.saitama-u.ac.jp

郵便番号338-8570 さいたま市桜区下大久保255 TEL (048)858-3110

窓口時間 平日：9時～12時、13時30分～17時

2023年度参考シラバス

閉じる

印刷

2023 年度 前期 教育機構		日英区分 : 日本語
AL2 (経済社会とジェンダー)		
ナンバリング		科目分野
		基盤
担当教員 (ローマ字表記)		
瀬山 紀子 [SEYAMA Noriko]		
対象学生	対象年次	単位数
	1~4	2
必修・指定選択・選択の別	曜日時限	教室
	木5	全学講義棟 1-303
科目群		講義番号
		XZ606031

クラス指定

特記事項なし

他との関連 (関連項目)

ダイバーシティ課題解決プログラムの提供する他の授業

履修条件 (授業に必要な既修得科目または前提知識)

経済社会とジェンダーとの関係についての関心があること、また、ジェンダー (性別に基づく格差) についての基礎的知識があることが望ましい。

テーマ・副題

経済社会とジェンダーの関係性について理解し、経済社会の課題をジェンダー視点で分析していく。

授業科目の到達目標

現在の経済社会の基盤となる社会システムや法制度が誰にとってどのような影響を及ぼしているのかについて、ジェンダー視点をもって分析できるようになる。ジェンダー平等な社会システムを構想するための分析視点を獲得する。

『ディプロマ・ポリシー』を含む学部・研究科・学科等の学修・教育目標との関連

特記事項なし

🔴 授業キーワード

ジェンダー、女性の貧困、性別役割分業型社会、男性中心型労働慣行、ケア、家族

🔴 授業の内容

この2年、コロナ禍が続くなかで、女性を中心とする非正規雇用の働き手の不安定化や貧困化の問題が可視化されてきた。こうした問題は、コロナ禍以前からあった日本社会の性別役割分業型社会／男性中心型労働慣行を一つの背景としている。授業では、さまざまなデータを用いながら、現在進行形の課題をジェンダーの視点から把握していくと同時に、歴史的に作られてきた日本の経済社会の構造をジェンダーの視点から捉え、その課題や今後の展望を考えていくことにしたい。ジェンダーの問題は、どの人にも関わる課題であり、人々の暮らし方、関係性のあり方などとも深く関わっている。授業内ではディスカッションなどを取り入れながら、それぞれが自身の経験を振り返り、問題に向き合う時間を作っていきたい。

🔴 授業の方法

講義およびゼミ形式（履修人数に応じて適宜グループディスカッションなどを行う）

🔴 事前準備学修・事後展開学修

授業1回あたり合計4時間の事前準備・事後展開学修が目安となります。

事前：関連するニュース、参考文献を読み進める

事後：関連するニュース、参考文献を読み進めると同時に、学習した内容について確認する

🔴 授業展開（スケジュール）

第1回:オリエンテーション

授業全体の説明／グループワークなど

◆第1部 コロナ禍とジェンダー

第2回:コロナ禍とジェンダー 1 統計データからみる“女性不況（She-cession）”

第3回:コロナ禍とジェンダー 2 困難の重複 貧困・暴力とジェンダー

第4回:コロナ禍とジェンダー 3 新たな働き方・リカバリーとジェンダー

第5回:小まとめ・ディスカッション

◆第2部 労働とジェンダー

第6回:労働とジェンダー 1 M字型雇用

第7回:労働とジェンダー 2 男性中心型労働慣行

第8回:労働とジェンダー 3 ハラスメント

第9回:小まとめ・ディスカッション ※ゲストスピーカー（予定）

◆第3部 ケアとジェンダー

第10回:アンパイドワークという領域

第11回:介護・家族とジェンダー

第12回:介護の社会化

第13回:小まとめ・ディスカッション ※ゲストスピーカー（予定）

第14回:全体の振り返り：働き方の未来を考える

第15回:全体のまとめ・総括

🔴 授業の詳細（履修登録学生のみ閲覧可）

[WebClass](#)へ

成績評価の方法と観点

授業中の参加度（50%）、期末レポートによる評価（50%）

成績評価基準

埼玉大学単位修得の認定に関する規則に基づき、履修者が授業の到達目標をどれだけ達成したかに応じて以下の通り評価する。

「到達目標を超え、全般的に特に秀でている」 =GP:4 = S

「到達目標を超えており、部分的に秀でている」 =GP:3.5=A+

「到達目標を超えている」 =GP:3 = A

「到達目標に十分達しており、部分的に秀でている」 =GP:2.5=B+

「到達目標に十分達している」 =GP:2 = B

「到達目標に最低限達しており、部分的に B 以上の水準にある」 =GP:1.5=C+

「到達目標に最低限達している」 =GP:1 = C

「到達目標に達していない」 =GP:0 = D

「到達目標の達成度を測る材料がない」 =GP:0=F

テキスト

備考	特定の教科書は指定しない。適宜、授業内で参考資料等を提示。
----	-------------------------------

参考図書

参考書1	ISBN	4334045626				
	書名	ルポコロナ禍で追いつめられる女性たち：深まる孤立と貧困				
	著者名	飯島裕子著	出版社	光文社	出版年	2021
	備考					
参考書2	ISBN	4004314496				
	書名	家事労働ハラスメント：生きづらさの根にあるもの				
	著者名	竹信三恵子著	出版社	岩波書店	出版年	2013
	備考					
参考書3	ISBN	4006004222				
	書名	企業中心社会を超えて：現代日本を「ジェンダー」で読む				
	著者名	大沢真理著	出版社	岩波書店	出版年	2020
	備考					
参考書4	ISBN	4532134714				
	書名	働き方の男女不平等：理論と実証分析				
	著者名	山口一男著	出版社	日本経済新聞出版社	出版年	2017
	備考					
参考書5	ISBN	4166610627				
	書名	働く女子の運命				
	著者名	濱口桂一郎著	出版社	文藝春秋	出版年	2015
	備考					

参考書6	ISBN	4845114771				
	書名	女性と労働：貧困を克服し男女ともに人間らしく豊かに生活するために				
	著者名	日本弁護士連合会第 58回人権擁護大会シ ンポジウム第1分科会 実行委員会編著	出版社	旬報社	出版年	2017
	備考					
参考書7	ISBN	4750345652				
	書名	シングル女性の貧困：非正規職女性の仕事・暮らしと社会的支援				
	著者名	小杉礼子 [ほか] 編著	出版社	明石書店	出版年	2017
	備考					
参考書8	ISBN	4272350447				
	書名	シニアシングلز女たちの知恵と縁				
	著者名	大矢さよ子, 湯澤直美 編；わくわくシニア シングلز著	出版社	大月書店	出版年	2018
	備考					
参考書9	ISBN	9784780312416				
	書名	新しい労働世界とジェンダー平等				
	著者名	浅倉むつ子著	出版社	かもがわ出版	出版年	2022
	備考					
参考書10	ISBN	4166613839				
	書名	男性中心企業の終焉				
	著者名	浜田敬子著	出版社	文藝春秋	出版年	2022
	備考					
参考書11	ISBN	4788718065				
	書名	ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方：ワーク・ライフ・バランスと持続可能な社会の発展のために				
	著者名	多賀太著	出版社	時事通信出版局	出版年	2022
	備考					
参考書12	ISBN	4787234501				
	書名	なぜ女性管理職は少ないのか：女性の昇進を妨げる要因を考える				
	著者名	大沢真知子編著；日 本女子大学現代女性 キャリア研究所編	出版社	青弓社	出版年	2019
	備考					

■ 学生へのメッセージ

日本社会の大きな課題の一つと言えるジェンダーの視点から、これまでの社会のあり方や自らの働き方、生き方について振り返り、この先の社会のあり方について考え合ひましょう。

閉じる

2023年度参考シラバス

印刷

2023 年度 前期 教育機構		日英区分 : 日本語
AL2 (「多様な性」と出会う) AL2(Encounter with Various Sexes)		
■ ナンバリング		■ 科目分野
		基盤
■ 担当教員 (ローマ字表記)		
渡辺 大輔 [Watanabe, Daisuke]		
■ 対象学生	■ 対象年次	■ 単位数
	1~4	2
■ 必修・指定選択・選択の別	■ 曜日時限	■ 教室
	火1,木1	全学講義棟 1-303
■ 科目群		■ 講義番号
		XZ600021

■ クラス指定

なし

■ 他との関連 (関連項目)

他のジェンダー／セクシュアリティ関係の科目

■ 履修条件 (授業に必要な既修得科目または前提知識)

なし

■ テーマ・副題

ジェンダー／セクシュアリティの多様性から問い直す生活・文化・社会・平等・共生

■ 授業科目の到達目標

ジェンダーやセクシュアリティの多様性の構造を説明できるようになる。その視点からわたしたちの意識や生活、制度を問い直し、性の多様性と社会問題および自己との関わりを認識できるようになる。

■ 『ディプロマ・ポリシー』を含む学部・研究科・学科等の学修・教育目標との関連

全学及び各学部のディプロマ・ポリシーで定めている「専門性のある幅広い基本的知識 (特に社会科学に関する幅広い基本的知識)を修得する」という目的に対応する科目である。

■ 授業キーワード

ジェンダー、セクシュアリティ、性的マイノリティ、LGBTQ+、多様性、人権

■ 授業の内容

多様なセクシュアリティと文化・社会をテーマにさまざまなゲスト講師をお招きし、ゲスト講師と受講者および受講者同士で対話、ディスカッションをする。またテーマに合わせて、グループディスカッション等を行う。

🔲 授業の方法

講義およびディスカッション形式の授業。

- ・受講者がリーダーシップをとり各回のゲスト講師とディスカッションをする。
- ・事前に配付する資料をもとに、受講者全員が質問を考え、それをもとにゲストと対話をする（★、例外もあり）。
- ・「ディスカッション」の日は、ゲスト授業の内容を踏まえ、事前に配付する資料をもとに、全員でディスカッションをする。
- ・事前・事後学修として資料読解、調べ学習によるディスカッション準備を各自で行う。

なお感染状況が悪化し、埼玉大学として対面授業の継続が困難という決定がされた場合、本授業はZoomを利用したリアルタイム方式で行う。

その場合の具体的な情報はWebClassで連絡する。

🔲 事前準備学修・事後展開学修

事前学修：各回のテーマに沿った配付資料を読み、ゲストへの質問やディスカッションへの準備をする。前回のフィードバックプリントを読む。

事後学修：授業内容の要点等をまとめた小レポートを作成し、提出する。配付資料を読む。

各回、合計4時間の事前学修・事後学修が目安となる。

🔲 授業展開（スケジュール）

No.	内容
第1回	6月13日（火） ガイダンス、「セクシュアリティ」とは何か
第2回	6月15日（木） SOGIEとLGBTQ+、カミングアウトとクローゼット
第3回	6月20日（火） 子どもの発達ニーズと性の多様性
第4回	6月22日（木） ジェンダー／セクシュアリティと「居場所」★
第5回	6月27日（火） ディスカッション（1）居場所
第6回	6月29日（木） 「性の多様性」をどのように教えるか
第7回	7月4日（火） ジェンダー／セクシュアリティと「働くこと」★
第8回	7月6日（木） ディスカッション（2）労働
第9回	7月11日（火） ジェンダー／セクシュアリティと法★
第10回	7月13日（木） ディスカッション（3）法
第11回	7月18日（火） ジェンダー／セクシュアリティと宗教★
第12回	7月20日（木） ディスカッション（4）宗教
第13回	7月25日（火） ジェンダー／セクシュアリティと文学★
第14回	7月27日（木） ディスカッション（5）文学
第15回	8月1日（火） まとめ

🔲 授業の詳細（履修登録学生のみ閲覧可）

[WebClass](#)△

🔲 成績評価の方法と観点

- ・授業科目の到達目標に則して、毎回の小レポート（60%）、授業役割遂行（10%）および期末レポート（30%）にて評価する。
- ・毎回の小レポートは、授業の要点、意見・感想、質問を記入したものをWebClassを通して期日までに提出すること。

成績評価基準

埼玉大学単位修得の認定に関する規則に基づき、履修者が授業の到達目標をどれだけ達成したかに応じて以下の通り評価する。

「到達目標を超え、全般的に特に秀でている」 =GP:4 = S

「到達目標を超えており、部分的に秀でている」 =GP:3.5=A+

「到達目標を超えている」 =GP:3 = A

「到達目標に十分達しており、部分的に秀でている」 =GP:2.5=B+

「到達目標に十分達している」 =GP:2 = B

「到達目標に最低限達しており、部分的に B 以上の水準にある」 =GP:1.5=C+

「到達目標に最低限達している」 =GP:1 = C

「到達目標に達していない」 =GP:0 = D

「到達目標の達成度を測る材料がない」 =GP:0=F

テキスト

備考	なし
----	----

参考図書

参考書1	ISBN	9784582837803				
	書名	性の多様性ってなんだろう？ (中学生の質問箱)				
	著者名	渡辺大輔	出版社	平凡社	出版年	2018年
	備考	刷が新しいものを推奨				

参考書2	ISBN	9784876034581				
	書名	セクシュアルマイノリティをめぐる学校教育と支援 (増補版)				
	著者名	加藤慶・渡辺大輔編著	出版社	開成出版	出版年	2012年
	備考					

参考書3	ISBN	9784004310648				
	書名	変えてゆく勇氣 ―「性同一性障害」の私から				
	著者名	上川あや	出版社	岩波新書	出版年	2007年
	備考					

参考書4	ISBN	9784780308419				
	書名	「LGBT」差別禁止の法制度って何だろう？ 地方自治体から始まる先進的取り組み				
	著者名	LGBT法連合会	出版社	かもがわ出版	出版年	2016年
	備考					

参考書5	ISBN	9784480069436				
	書名	LGBTを読みとく ―クィア・スタディーズ入門				
	著者名	森山至貴	出版社	ちくま新書	出版年	2017年
	備考					

参考書6	ISBN	9784816365829				
	書名	はじめて学ぶLGBT ―基礎からトレンドまで				
	著者名	石田仁	出版社	ナツメ社	出版年	2019年
	備考					

備考	その他、随時紹介する。
----	-------------

閉じる

2023年度参考シラバス

印刷

2023年度 前期 教育機構		日英区分 : 日本語
ジェンダー論入門 Introduction to Gender		
ナンバリング	科目分野	
	基盤	
担当教員 (ローマ字表記)		
渡辺 大輔 [Watanabe, Daisuke]		
対象学生	対象年次	単位数
	1~4	2
必修・指定選択・選択の別	曜日時限	教室
	火2,木2	全学講義棟 1-207
科目群	講義番号	
	XZ500001	

クラス指定

なし

他との関連 (関連項目)

他のジェンダー/セクシュアリティ関係の科目

履修条件 (授業に必要な既修得科目または前提知識)

なし

テーマ・副題

「個人的なことは政治的なこと」

授業科目の到達目標

「ジェンダー」「セクシュアリティ」とは何か。それらにかかわる社会問題にはどのようなものがあるのか。それらはこの社会にどのように埋め込まれているのか。その問題の構造を説明できるようになる。その上で「個人的なことは政治的なこと」の意味を説明できるようになる。

『ディプロマ・ポリシー』を含む学部・研究科・学科等の学修・教育目標との関連

全学及び各学部のディプロマ・ポリシーで定めている「専門性のある幅広い基本的知識 (特に社会科学に関する幅広い基本的知識)を修得する」という目的に対応する科目である。

授業キーワード

ジェンダー、セクシュアリティ、人権、多様性

授業の内容

ジェンダー論と一口に言ってもその内実は一様ではない。まずはジェンダーにまつわるいくつかの概念を理解し、それぞれのジェンダー論が問題にし、明らかにしてきたことを学ぶ。それを踏まえて、現在の社会生活にあるジェンダー/セクシュアリティにかかわる問題を検討していく。また、それらが狭義のジェンダー問題に限られるものではなく、私たちの社会全体、つまり私たちが生きるといふことそのものに強く関係しているのだということ、さまざまな社会的事象を扱いながら検討していく。

🔴 授業の方法

講義形式の授業。

なお、埼玉大学として対面授業の継続が困難という決定がされた場合、本授業はMicrosoft Teamsを利用したリアルタイム方式で行う。

その場合の具体的な情報はWebClassで連絡する。

🔴 事前準備学修・事後展開学修

事前学修：配付資料（適宜）、および前回授業のフィードバックプリントを読む。

事後学修：授業内容の要点等をまとめた小レポートを作成し、提出する。配付資料を読む（適宜）。

各回、合計4時間の事前学修・事後学修が目安となる。

🔴 授業展開（スケジュール）

No.	内容
第1回 6月13日（火）	ガイダンス、「ジェンダー」とフェミニズムの歴史
第2回 6月15日（木）	セクシュアリティ論入門
第3回 6月20日（火）	ジェンダー／セクシュアリティと教育
第4回 6月22日（木）	ジェンダー／セクシュアリティと「居場所」★
第5回 6月27日（火）	ジェンダー／セクシュアリティとセクシュアリティ教育
第6回 6月29日（木）	ジェンダー／セクシュアリティと男女共同参画
第7回 7月4日（火）	ジェンダー／セクシュアリティと「働くこと」★
第8回 7月6日（木）	ジェンダー／セクシュアリティと身体・表象
第9回 7月11日（火）	ジェンダー／セクシュアリティと法★
第10回 7月13日（木）	ジェンダー／セクシュアリティと家族
第11回 7月18日（火）	ジェンダー／セクシュアリティと宗教★
第12回 7月20日（木）	ジェンダー／セクシュアリティと暴力
第13回 7月25日（火）	ジェンダー／セクシュアリティと文学★
第14回 7月27日（木）	ジェンダー／セクシュアリティと国家
第15回 8月1日（火）	まとめ

🔴 授業の詳細（履修登録学生のみ閲覧可）

[WebClass](#)△

🔴 成績評価の方法と観点

- ・授業科目の到達目標に則して、毎回の小レポート（60%）と期末レポート（40%）にて評価する。
- ・毎回の小レポートは、授業内容要点（400字程度）および意見・感想、質問（文字数適宜）を記入したものをWebClassを通して期日までに提出すること。

🔴 成績評価基準

埼玉大学単位修得の認定に関する規則に基づき、履修者が授業の到達目標をどれだけ達成したかに応じて以下の通り評価する。

「到達目標を超え、全般的に特に秀でている」 =GP:4 = S

「到達目標を超えており、部分的に秀でている」 =GP:3.5=A+

「到達目標を超えている」 =GP:3 = A

「到達目標に十分達しており、部分的に秀でている」 =GP:2.5=B+

「到達目標に十分達している」 =GP:2 = B

「到達目標に最低限達しており、部分的に B 以上の水準にある」 =GP:1.5=C+

「到達目標に最低限達している」 =GP:1 = C

「到達目標に達していない」 =GP:0 = D

「到達目標の達成度を測る材料がない」 =GP:0=F

🔴 テキスト